学校番号	２０６

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	言語文化	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「改訂版　言語文化」（数研出版）						
副教材等	「新明説総合古典文法」（尚文出版）、「精選漢文　重要な句法と語彙を学ぶ」（尚文出版）、「新明説総合古典文法ノート」（尚文出版）、「『読む』から『読み解く』へつなげる古典」（数研出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

国語力は、あらゆる論理的思考の基に位置すべき重要な骨格である。 単純な意思疎通のみに終始した生徒たちの柔弱な言語環境を生徒自らが主体的に脱し、真に気持ちの通い合うコミュニケーションの成立をめざせるよう美しい日本語を手本として、より高次の読解力・表現力を養うべく、教科書を中心とした授業を実施する。

２　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することをめざす。

【知識及び技能】

生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】

言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。	生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通じて積極的に他者と関わり思いや考えを深めると同時に、言葉のもつ価値への認識を新たにし、言語感覚を磨き言葉を効果的に使おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1	［単元名］ 古文のリズムに親しもう -歴史的仮名遣いと活用- ［教材］ ⑴『宇治拾遺物語』 「児のそら寝」 ［内容］ ❶文語文法 ・歴史的仮名遣い ・動詞の活用	a:知識・技能 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 b［読］:思考・判断・表現 ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 c:主体的に学習に取り組む態度 ・現代語と文語の違いについて理解するとともに、文語のきまりに即して古文のリズムや内容に親しもうとしている。	・定期考査 ・ワークへの取り組み状況	・定期考査 ・ワークへの取り組み状況	・授業プリント ・ワークへの取り組み状況 ・単元テスト
	［単元名］ 漢文を読むための準備① -漢文の構造と訓点の規則- ［教材］ ⑴漢文入門 「訓読の基礎Ⅰ」 ［内容］ ❶漢文と訓読の規則 ・漢文の構造 ・訓点の規則	a：知識・技能 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 c:主体的に学習に取り組む態度 ・漢文と日本語の関係について理解するとともに、訓読の仕組みを踏まえて漢文や訓読文を書き下し文になおして理解しようとしている。	・定期考査 ・ワークへの取り組み状況	・定期考査 ・ワークへの取り組み状況	・授業プリント ・ワークへの取り組み状況
	［単元名］ 文法的知識を活かして古文を解釈しよう -主語の判定と接続助詞- ［教材］ ⑴『竹取物語』 「なよ竹のかぐや姫」 ［内容］ ❶文語文法 ・用言の活用 ・接続助詞 ❷古典の文化 ・平安時代の成人	a：知識・技能 ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 b［読］:思考・判断・表現 ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 c:主体的に学習に取り組む態度 ・古文特有の語彙や文語文法、当時の文化についての理解を、作品の内容を解釈に活かそうとしている。	・定期考査 ・ワークへの取り組み状況	・定期考査 ・ワークへの取り組み状況	・授業プリント ・ワークへの取り組み状況 ・単元テスト

	［単元名］ 漢文を読むための準備② –助字・置き字と再読文字– ［教材］ ⑴漢文入門 「訓読の基礎Ⅱ」 ［内容］ ❶漢文と訓読の規則 ・助字と置き字 ・再読文字	a ：知識・技能 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 c：主体的に学習に取り組む態度 ・訓読の仕組みを踏まえて漢文や訓読文を書き下し文になおして理解するとともに、特殊な用法を持つ語を含んだ文を適切に解釈しようとしている。	・定期考査 ・ワークへの取り組み状況	・定期考査 ・ワークへの取り組み状況	・授業プリント ・ワークへの取り組み状況

2	［単元名］ 平安時代の文化を踏まえて作品を解釈しよう –成人と恋愛– ［教材］ ⑴『伊勢物語』 「筒井筒」 ［内容］ ❶文語文法 ・用言のまとめ ・助動詞 ❷古典の文化 ・平安時代の恋愛と生活	a ：知識・技能 ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 b［読］：思考・判断・表現 ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 c：主体的に学習に取り組む態度 ・古文特有の語彙や文語文法、当時の文化についての理解を作内の解釈に活かすとともに、作品の内容に関する自身の感じ方を表現しようとしている。	・定期考査 ・ワークへの取り組み状況	・定期考査 ・ワークへの取り組み状況	・授業プリント ・ワークへの取り組み状況 ・単元テスト
	［単元名］ 平安時代の文化を踏まえて作品を解釈しよう –入内と摂関政治–	a ：知識・技能 ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。	・定期考査 ・ワークへの取り組み状況	・定期考査 ・ワークへの取り組み状況	・授業プリント ・ワークへの取り組み

	［教材］ ⑴『伊勢物語』 「芥川」 ［内容］ ❶文語文法 ・助動詞 ❷古典の文化 ・平安時代の恋愛 ・入内と摂関政治	・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 b［読］：思考・判断・表現 ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 c：主体的に学習に取り組む態度 ・古文特有の語彙や文語文法、当時の文化についての理解を作品の解釈に活かすとともに、作品の内容や当時の文化に対する自身の考えを、自身の生活と結び付けながら分かりやすく説明しようとしている。			状況 ・単元テスト
	［単元名］ 漢詩の規則を踏まえて作品を解釈しよう ［教材］ ⑴漢詩 「涼州詞」「月夜」 ［内容］ ❶漢文と訓読の規則 ・漢詩の詩形 ・漢詩の規則	a：知識・技能 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 b［読］：思考・判断・表現 ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 c：主体的に学習に取り組む態度 ・漢詩と日本人との関わりを理解するとともに、漢詩の規則を踏まえてその内容を解釈し、作品の表現の工夫やその効果について自身の考えを表現しようとしている。	・定期考査 ・ワークへの取り組み状況	・定期考査 ・ワークへの取り組み状況	・授業プリント ・ワークへの取り組み状況 ・単元テスト

3	［単元名］ 平安時代の文化を踏まえて作品を解釈しよう −女房と宮中−	a：知識・技能 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。	・定期考査 ・ワークへの取り組み状況	・定期考査 ・ワークへの取り組み状況	・授業プリント ・ワークへの取り組み

	［教材］ ⑴清少納言『枕草子』 「雪のいと高う降りたるを」 ［内容］ ❶文語文法 ・敬語 ❷古典の文化 ・女房と宮中	・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 ｂ［読］：思考・判断・表現 作品や分掌に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 ・作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 c：主体的に学習に取り組む態度 ・当時の文化や作品の成立背景についての理解を、作品の内容を解釈に活かすとともに、作品に表れている作者のものの見方や表現意図を捉えようとしている。			状況 ・単元テスト
	［単元名］ 漢文と日本語の繋がりを発見しよう ［教材］ ⑴故事成語 「漁夫之利」「矛盾」「狐借虎威」「朝三暮四」 ［内容］ ❶漢文と訓読の規則 ・否定の句法	ａ：知識・技能 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 ・時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め，古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解している。 ｂ［書］：思考・判断・表現 ・自分の知識や体験の中から適切な題材を決め，集めた材料のよさや味わいを吟味して，表現したいことを明確にしようしている。 ・自分の体験や思いが効果的に伝わるよう，文章の種類，構成，展開や，文体，描写，語句などの表現の仕方を工夫している。 c：主体的に学習に取り組む態度 ・漢文と現代日本語との関わりを理解するとともに、漢文由来の表現を自身の言語生活から発見・活用することを通して、自身の語彙を拡張しようとしている。	・定期考査 ・ワークへの取り組み状況	・定期考査 ・ワークへの取り組み状況	・授業プリント ・ワークへの取り組み状況 ・単元テスト

	［単元名］ 物語の基本構造に着目して作品を解釈しよう −人物・時・空間・語り手− ［教材］ ⑴芥川龍之介『羅生門』 ［内容］ ❶物語の構造 ・登場人物と造形 ・時間の表現 ・空間の設定 ・語り手と視点	ａ：知識・技能 ・常用漢字の読みに慣れ，主な常用漢字を書き，文や文章の中で使っている。 ・文章の意味は，文脈の中で形成されることを理解している。 ｂ［読］：思考・判断・表現 ・文章の種類を踏まえて，内容や構成，展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・作品や文章に表れているものの見方，感じ方，考え方を捉え，内容を解釈している。 ・文章の構成や展開，表現の仕方，表現の特色について評価している。 c：主体的に学習に取り組む態度 ・物語の基本的な構造を理解するとともに、作品の内容や表現についての考えを交流し自他の解釈を吟味する中で、より妥当な解釈を追究しようとしている。	・パフォーマンス課題 ・ワークへの取り組み状況	・パフォーマンス課題 ・ワークへの取り組み状況	・パフォーマンス課題 ・ワークへの取り組み状況

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準ｂ［　］について…括弧内には［　話／聞、書、読　］のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　０　）時間

・書くこと　…　（　１０　）時間

・読むこと　…　（　６０　）時